社会貢献活動報告【287】

パチンコ・パチスロの
神遊協 KANA-YUKYO 神福協 KANA-FUKUKYO

筋電義手バンクへの寄付により感謝状をいただきました

令和８年 10 月 23 日

令和８年 10 月 23 日（金）神奈川県庁において、かながわ筋電義手バンクへの寄付に伴い、神奈川県知事より感謝状をいただきました。



左から　伊坂理事長、黒岩知事

筋電義手は、腕の筋肉が収縮する際に起きる微弱な電流に反応して自分の意思で動かせる義手で、１台当たりおよそ 200 万円と高額です。

国に認定されれば公費負担により購入できますが、そのためには筋電義手を使いこなせないと認定が受けられません。

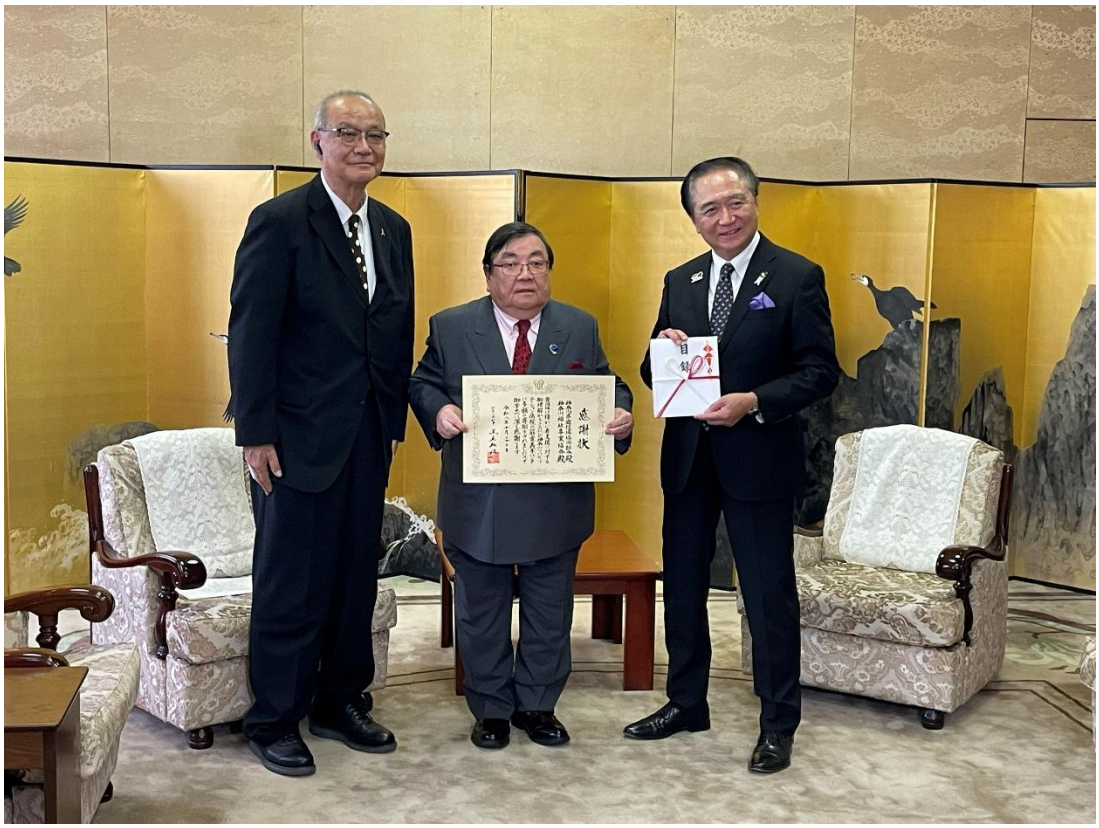
こうした状況に対応するため、神奈川県では寄付金を活用しながら訓練用の筋電義手を貸し出す、筋電義手バンクを令和４年に設立

しました。

私たち遊技業界では、この取り組みに賛同して継続して支援を行っています。

式典の冒頭、神奈川県遊技場協同組合伊坂重憲理事長（神奈川福祉事業協会会長）は、「高度な機能を持つ義手で高額であると聞き、我々に協力できることはないかと思い、５年前から支援させていただいている。これからも支援していきたい。」と挨拶し、黒岩知事に寄付金 150 万円の目録をお渡ししました。

黒岩知事からは「子どもの成長に伴って義手のサイズ変更が必要になり費用負担が大きいため、筋電義手バンクを設立した。保護者からは感謝の声が寄せられており、いただいた寄付を筋電義手の普及・促進に活用していきたい。」というお礼の言葉と感謝状をいただきました。



左から 佐藤専務理事、伊坂理事長、黒岩知事

筋電義手バンク設立より行ってきた寄付も、今回で５回目（累計額 900 万円）になりました。腕に障害のある方の少しでもお役に立てるよ

う、私たち遊技業界は、これからも社会貢献活動に取り組んでまいります。



神奈川福祉事業協会は昭和 60 年 2 月、神奈川県遊技場協同組合をはじめ県内遊技業界により社会福祉に貢献する組織として設立されました。